

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画 4か年の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議平成 29 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

平成 30 年●月

目次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議 平成 29 年度の活動実績	5
	(1) 平成 29 年度の活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③調査部会（現地調査）	
	④広報・見える化部会	
4	横浜みどリアップ計画 4か年の評価、提案	10
	◆計画の体系	
	◆評価・提案の概要	
	◆各取組の柱のハイライト	
(1)	取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	●
	施策 1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策 2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策 3 森と市民とをつなげる取組の推進	
(2)	取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる	●
	施策 1 農に親しむ取組の推進	
	施策 2 地産地消の推進	
(3)	取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる	●
	施策 1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進	
	施策 2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進	
(4)	効果的な広報の展開	●
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	●
6	市民推進会議委員からのコメント	●
7	市民推進会議広報誌	●
	「みどリアップQ」（平成 29 年度発行分）	

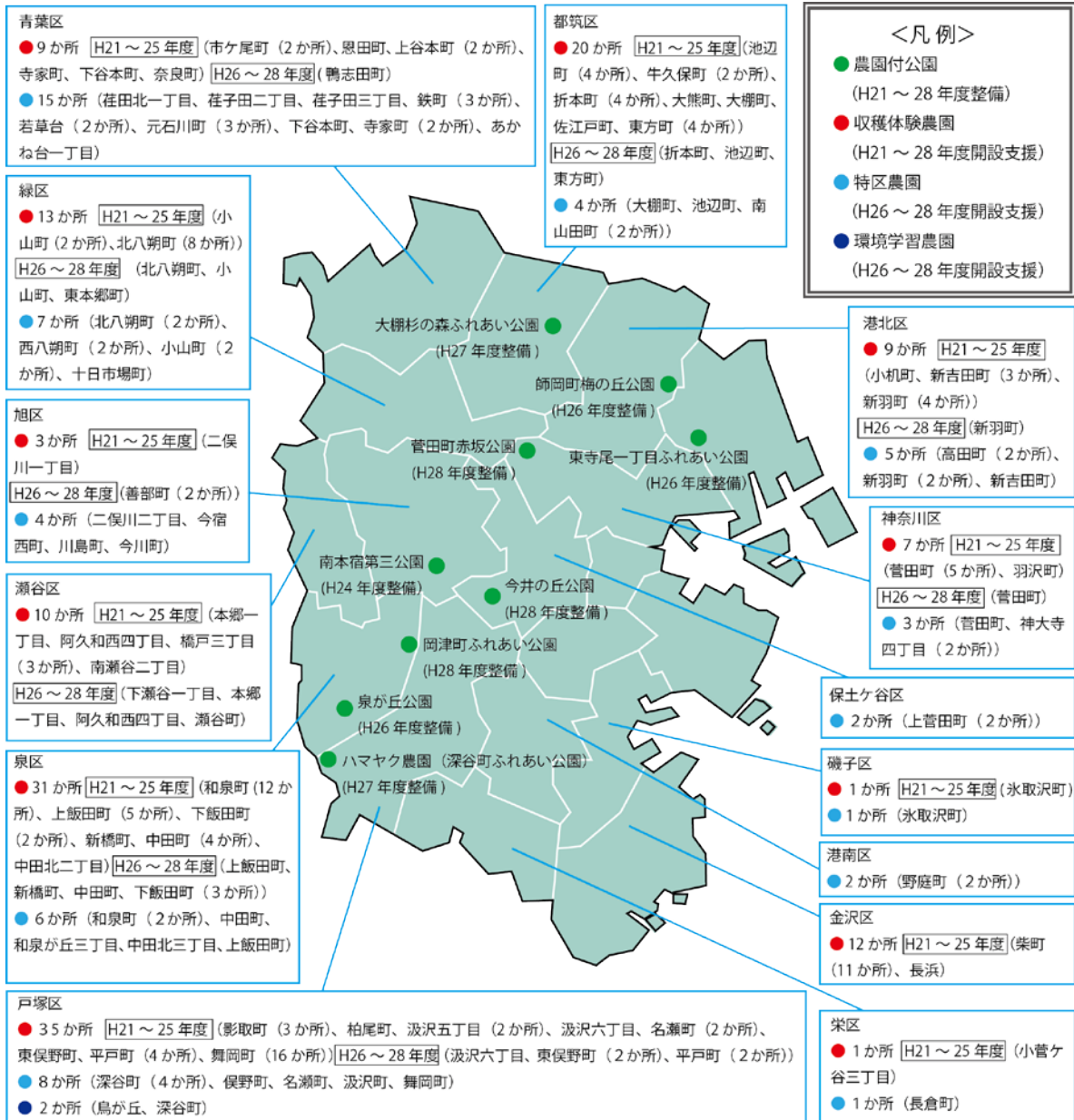


取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

農園の開設が進んでいます

野菜の収穫や果実のもぎとりなどを気軽に体験できる収穫体験農園、本格的な農作業が出来る特区農園や農園付公園を整備するなど、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設が進んでいます。

<農園の開設状況>



● 農園付公園



● 収穫体験農園



● 特区農園



● 環境学習農園

(2)取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

景観や生物多様性の保全など農地が持つ環境面での役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

集団的な農地から構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観など、多くの市民に親しまれてきた農景観を次世代に継承するため、水稲作付を10年間継続することを条件とした水田所有者への奨励金交付や、地域の団体に共同利用する管理用設備の整備支援、意欲ある農家・NPO法人などが農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける農地所有者に奨励金を交付し、農地の貸し借りを促進する取組などを推進します。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組10 水田の保全				
水田保全承認面積	累計 123ha	承認予定 累計 120.1ha	承認予定 累計 120.1ha	累計 125ha
水源確保施設整備	2か所	実施予定 2か所	6か所 (実施予定含む)	10か所
取組11 特定農業用施設保全契約の締結				
制度運用	制度運用	契約8件	契約48件	制度運用
取組12 農景観を良好に維持する取組の支援				
良好に維持されている農地の面積 (集団的農地保全団体支援事業)	723ha	677.7ha	677.7ha	680.0ha
田園景観保全水路整備	1地区	0地区 (継続3地区)	6地区	5地区
共同利用設備の整備	5件	3件	8件	25件
取組13 多様な主体による農地の利用促進				
長期貸付開始農地	新規 2.0ha 累計 81.0ha	新規 14.9ha 累計 108.5ha	新規 46.2ha 累計 108.5ha	累計 80.0ha

※11月末時点



保全された水田(港北区箕輪町)



整備された水路(青葉区寺家町)



共同利用設備(チップーシュレッダー)



水路の維持管理作業(緑区いぶき野)

事業② 農とふれあう場づくり

◆事業概要(計画書から抜粋)

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験農園や様々な市民ニーズに合わせた市民農園(栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、特区農園)の開設支援のほか、土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を市が買取るなどして、農園を主とした都市公園の整備を進めます。また、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里での取組の推進や、市内の生産現場や直売所などの流通現場を巡るツアーの開催など、市民が農とふれあう機会を提供します。これらの取組の情報発信を充実させることにより、市民の利用や参加につなげます。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 14 様々なニーズに合わせた農園の開設				
収穫体験農園の開設支援	2.5ha	1.6ha	6.6ha	12.5ha
市民農園の開設支援	1.2ha	1.2ha	8.3ha	6.0ha
農園付公園の整備	3.2ha	事業推進 3.5ha うち整備完了 0.3ha	4.1ha	7.3ha

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 15	市民が農を楽しみ支援する取組の推進			
ふるさと村・恵みの里の農体験教室など	100回	70回	340回	500回
あぐりツアー開催	4回	3回	13回	20回
農のある地域づくり協定	4件	活動実施中3件 候補地区調整中1件	4件 (調整中含む)	4件
農体験講座	5回	5回	20回	25回

※11月末時点



開設支援した収穫体験農園
(旭区川島町)



開設支援した特区農園
(青葉区元石川町)



恵みの里の農体験教室(緑区新治町)



家族で学ぶ農体験講座
(保土ヶ谷区環境活動支援センター)

市担当者からのコメント(環境創造局農政推進課)

市民農園事業では、本市が認定した法人である「市民農園コーディネーター」が、特区農園開設希望者の要望に応じて、農園開設時に助言・支援を行っています。今年度は制度拡充を行うとともに、開設支援に関する説明会や、講師を招いて特区農園の近年の課題・対応策等に関する研修会を開催し、景観対策や、施設整備などについて活発な意見交換を行うことができました。今後とも市民農園コーディネーターの皆様と協力し、特区農園開設希望者への支援を行います。

◆施策1についての評価・提案

- ・水田保全奨励など、主要な取組については概ね目標を達成していることを評価します。
- ・きれいに管理された農地や季節の花などに彩られた農道は、市民が農に親しむための重要な要素となっています。担い手不足が心配されますが、引き続き、地域の農家の皆様が協力し、継続できるよう推進してください。
- ・市民意識調査では農に関する今後行ってみたいこととして「収穫体験」と「市民農園など、一年を通じた野菜の栽培」がそれぞれ35%以上でした。そういった市民のニーズも踏まえ、農園の開設支援が進むことを期待します。
- ・農地所有者による特区農園の開設をお手伝いする「市民農園コーディネーター」の活用により、市民が利用しやすい農園の開設をさらに進めていくことを期待します。
- ・子どもの農体験は、食育や環境学習の面においても、かけがえのない経験となります。引き続き講座内容等に工夫をしていかれることを望みます。

施策2 地産地消の推進

事業③ 身近に感じる地産地消の推進

◆事業概要(計画書から抜粋)

地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援や、市内で生産される苗木や花苗を配布するなど、地産地消の取組を拡大します。さらに、地産地消に関わる情報の発信など、市民が地産地消を身近に感じるための取組を推進します。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組16 地産地消にふれる機会の拡大				
直売所の整備・施設拡充の支援	15件	11件	36件	52件
青空市運営支援	5件	2件	16件	25件
緑化用植物の生産・配布	26,000本	24,781本	104,982本	125,000本
情報発信・PR活動	推進	推進中	推進	推進

※11月末時点



直売所等設備設置支援事業



よこはま食と農の祭典 2017



はまふうどナビ 46号

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

◆事業概要(計画書から抜粋)

市民の「食」と、農地や農畜産物といった「農」をつなぐ「はまふうどコンシェルジュ」などの地産地消に関わる人材の育成やネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等が連携する取組を推進します。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 17	地産地消を広げる人材の育成			
はまふうどコンシェルジュの活動支援	20件	17件	80件	100件
フォーラムの開催	1回	検討中	4回 (検討中含む)	5回
取組 18	市民や企業等との連携			
企業等との連携	15件	10件	35件	50件
ビジネス創出支援	8件	5件	15件	25件
学校給食での市内産農畜産物の利用促進	推進	一斉供給(11月キャベツ)、はま菜ちゃん料理コンクール本選	推進	推進

※11月末時点



はまふうどコンシェルジュ活動支援
(マルシェの開催)



地産地消ビジネス
(横浜野菜を使った野菜マフィンギフト)



よこはま地産地消フェア(ヨコハマグランド
インターコンチネンタルホテル)



はま菜ちゃん料理コンクール本選

市担当者からのコメント(環境創造局農業振興課)

市民や企業の皆様の地産地消に対する関心の高さは、はまふうどコンシェルジュによる活動や企業等との連携の件数にも反映されています。こうした関心の高まりをより広げていくため、今年度は普段「農」にふれる機会の少ない都心臨海部でのイベント開催や地産地消サポート店マップの新規発行を通じて、より多くの市民の方に地産地消の魅力を伝えました。引き続き、連携を強化するとともに、市民の皆様が身近に農を感じられる様々な取組を進めていきたいと思っております。

◆施策2についての評価・提案

- ・直売所の整備・拡充支援については、目標達成に向けた努力が表れてきており、地産地消の取組が概ね順調に進んでいることを評価します。
- ・はまふうどナビや地産地消サポート店マップなど、工夫を凝らした広報に取り組んでいることについて評価します。よこはまの農畜産物がより市民にとって身近になるよう引き続き努めてください。
- ・地産地消に対する市民の関心の高まりは、市民意識調査からも見て取れます。そうした市民のニーズにこたえるためにも、市民自らが地産地消を推進する「はまふうどコンシェルジュ」の一層の活躍が期待されます。引き続き、「はまふうどコンシェルジュ」の育成・支援を推進してください。
- ・企業との連携についても着実に進んでいます。企業のアイデアを積極的に取り入れ、地産地消への関心が広がることを期待します。